

News Release

2018年9月18日
株式会社日立製作所

アンサルド STS 社がとりまとめる FLOW コンソーシアムが、 サウジアラビア リヤドメトロの運行および保守サービスを約 3,250 億円で受注

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)の鉄道システム事業におけるグループ会社であるアンサルド STS 社(CEO:アンディ・バー)がとりまとめる FLOW コンソーシアム*1は、サウジアラビア王国(以下、サウジアラビア)のリヤド市開発局(ArRiyadh Development Authority)から 12 年間*2のリヤドメトロ 3、4、5、6 号線の運行および保守サービスを約 29 億米ドル(約 3,250 億円)で受注しました。うち、アンサルド STS 社の受注金額は、約 10 億米ドル(約 1,100 億円)です。

アンサルド STS 社がとりまとめる FLOW コンソーシアムは、サウジアラビアのリヤドの地下鉄 6 路線のうち 4 路線の運行を担当します。4 路線は総距離約 113km で、50 の駅を有しています。

コンソーシアムは、運行、セキュリティ確保や旅客案内などの乗客支援、施設管理、および建物(駅、駐車場、車両基地など)や車両、信号・通信、変電、その他のインフラの保守を含む輸送システム全体の O&M サービスを提供予定です。

また、アンサルド STS 社は、ANM コンソーシアム*3の一員として、リヤドメトロの路線で最も長距離である 3 号線に、メトロ・システムを供給しています。さらに、リヤドで初となる自動運転メトロ・システムをプリンセスヌーラ大学向けに構築し、運行するなど、15 年以上にわたるサウジアラビアでの実績があります。無人運転車両については、20 年以上前にコペンハーゲン地下鉄向けに車両の設計、製造を行い、運行および保守サービスを提供しており、豊富なノウハウや経験を有しています。

アンサルド STS 社 CEO アンディ・バーのコメント

「当社は鉄道事業の総合サービスプロバイダーとして運行・保守サービス事業に注力しています。既存のお客さまであるリヤド市開発局が、われわれの能力や専門性を高く評価し、リヤドメトロ 3 号線へのメトロ・システムの供給に続き、さらに 4 つの路線の運行および保守サービスについても受注を決定くださったことを誇りに思います。FLOW コンソーシアムのパートナー企業とともにお客さまと長期にわたって良好な関係を築き、今後も、サウジアラビアの発展に貢献していきます。」

*1: アンサルド STS 社とイタリアの鉄道会社フェッロヴィエ・エ・デッロ・スタート・イタリアーナ社(Ferrovie dello Stato Italiane S.p.A.)、アルストム・トランスポート社(Alstom Transport S.A.)で組成したコンソーシアム。

*2: 2 年間の運行および保守体制立ち上げ期間を含む。

*3: ANM(Arriyadh New Mobility):リヤドメトロ 3 号線の設計・建築を行うコンソーシアム。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
